

自社のDX推進状況を 正しく把握できていますか？

DXに関する35問からなる自己診断と、他社比較ができる「ベンチマーク」を活用し、デジタル時代の競争力ある企業を目指す

DX推進指標



- DX推進指標は自己診断。項目に回答していくことでDX推進に向けた自社の課題や、次に実施すべきアクションがわかります。
- 経営・仕組みの観点19項目とITの観点16項目の全35項目。

➤ DX推進指標のご案内

<https://www.ipa.go.jp/digital/dx-suishin/about.html>



DX推進指標の3つのメリット

認識共有

わが社はDXできている？できてない？

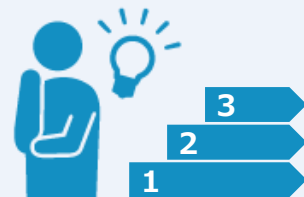
- ✓ DX推進指標に回答するために、経営者や事業部門、DX部門、IT部門などの関係者が集まって議論することで、関係者間での認識の共有を図り、今後の方向性の議論を活性化



アクション

DXの推進に向けて何をしたらよいの？

- ✓ 自社の現状や課題の認識を共有した上で、あるべき姿を目指すために次に何をすべきか、アクションについて議論し、実際のアクションにつなげる



進捗の把握

去年に比べてわが社のDXは進んだ？

- ✓ 毎年診断を行ってアクションの達成度合いを継続的に評価することにより、DXを推進する取組の経年変化を把握し、自社のDXの取組の進捗を管理する



経産省のDX推進指標で 簡易なDX判断を

提出企業にはベンチマークを提供（無償）

✓ 自己診断を実施し、診断結果をIPA*1に提出いただいた企業には、他の提出企業のDX取組状況と自社の取組状況を比較できる「ベンチマーク」を提供しています

自己診断結果提出サイト (DX推進指標のご案内)



ベンチマーク



全体の傾向

- 全体概要
- 業種別
- 定性指標
- 売上規模別
- 従業員数規模別

先行企業の特徴

- 概要
- 定性指標(現在)
- 定性指標(目標)

業種・産業・売上別の特徴

- 概要
- 定性指標(現在)
- 定性指標(目標)

IPA - DX推進指標のご案内 自己診断方法
<https://www.ipa.go.jp/digital/dx-suishin/about.html>

次年度の事業計画立案に活用

分析レポートの公表について

IPAにおいてDX推進指標の分析レポートを公表しています。
 IPA - DX推進指標 自己診断結果 分析レポート (2022年版)
<https://www.ipa.go.jp/digital/dx-suishin/bunseki2022.html>

DX推進指標について

DX推進指標の詳細についてはこちら
<https://www.ipa.go.jp/digital/dx-suishin/about.html>

提出に協力いただいた企業の公表について

経済産業省・IPAのホームページ (URLは左記) において、令和3年中にDX推進指標を実施・提出いただいた企業名を「DX推進指標の自己診断にご協力いただいた企業」として公表しております。*3

提出いただいた情報の取り扱いについて

個別企業の診断結果や報告に含まれる連絡先や個人情報などの個社情報が外部公表されることや、当該企業の許諾なく外部機関に提供されることはありません。*4

*1 DX推進指標の収集・分析は独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が実施しています。*2 業種・産業別分析は十分な数のデータが集まった業種・産業についてのみ提供しています。*3 非公開を希望する企業を除く。*4 外部への情報提供に関する個別許諾はIPAが直接確認します。IPAへの許諾の通知方法等は、情報提供に関するご案内を参照ください。

本件に関するお問い合わせ先